

# オンライン園見学 01 歳の環境 第 54 回保育環境セミナーより

第 215 号 2021 年 4 月 12 日発行

## ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や  
ご要望に応えるコンシェルジュがいる  
ように、保育においても様々な  
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=  
ミマモルジュとして、保育に関する  
ご要望にお応えしていけるよう  
活動していきます。

株式会社ガガヤ 奥山卓矢

## オンライン園見学 (01 歳の環境)

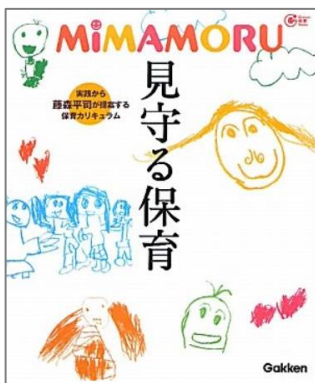
今回は第 54 回保育環境セミナーのオンライン園見学より、  
新宿せいが子ども園の 01 歳の環境のポイントなど、  
職員の森口先生が園内を案内した際の内容です。

### 【遊食寝】

こちらが 0 と 1 の環境となります。特徴的なのが食事をする場所と、寝る場所と遊ぶ場所が分かれています。子どもたちの発達を保証することですので、「見守る保育」や「藤森メソッド」も子どもの発達を保証するというので、遊ぶところと寝るところを一つにしていると小さい子は食べるのも、寝る時間のペースがバラバラなので、一つの場所だと、大人の都合になって、早く食べてとか、おやつ食べるから布団を早く片したいから起きてとか、子どものリズムに合わせて行けるかな?と思います。それが特徴的な環境です。

### 【静・動スペース】

01 は異年齢で過ごしているが、主に 0 歳がいるスペースです。0 といっても発達で環境を分けているので、ここは歩行が安定しない子がいると思ってもらおう。01 を一緒にすればいいという異年齢ではないです。主に 0 がありますが 0 がいないといけないという訳ではないです。主に 1 がいて、歩ける子が過ごしている場所で、右側が動かすスペース。登ったり、走ったりするスペース。左側は玩具なので静のスペース。動静に分けることで、子どもの遊びを保証することになる。玩具で遊びたい子と、身体を動かしたい子が一緒になると、個々の発達を保証できないので、目的に応じてゾーンの考え方だが、遊びの場所を変えられるようになっています。



メリハリがあると落ち着きます。混然一体ではなく、ここは身体を動かしていいなど、メリハリがあることが大事だと思います。345のゾーンのように絵を描くとか、ブロックをするゾーン環境ではない。01は目の前にあるもので遊んでいくので、絵を描くぞ、ブロックをするぞ、ではなく、これ面白そう！と興味移っていくので、色々な物が手に取れるような環境になっています。345に比べるとスペースがあります。

### 【物の環境】

汚れたものを入れる袋だが、顔写真入りです。園によっては動物のシールなどが貼られているところがあると思うが、うちは子どもの写真にすることで自分のものもそうだが、友達のも分かるので、教え合ったり横のつながりが生まれてくるので、顔写真がいいのかなと思います。ハイチェアで食事をして3対1で食べることで、手づかみで食べていくので、こぼしていいよということを踏まえて、片付けもしやすいので、手づかみで汚しながら食べていけるようにしている。3対1配置にすることで、横の子との関わりがあったりもします。0がこっちを向くことで1が食事をしている様子を見れるようにしています。こういう風に食事をするんだとか、エプロンはこう仕舞うのだとか、フォークはこう使うんだとか、教えずに自然と学び刺激を受けて行ける。

### 【寝スペース】

寝るスペースです。ここも大事にしているのが暗すぎないこと。突然死を防ぐポイントとして適度に刺激があった方がいいということで少し明るい。活動している声も聞こえる。ドアがあるが、ドアを開けると風通しが良くなる、上にはバーみたいなものが付いているが、空気をかき混ぜ、よどみがないこともポイントです。刺激があって、よどみがないことで突然死を防いでいることがあります。01はこんな感じかなと思います。主に0がいるスペースですが興味あるものを手に取れるように、つかまり立ちも自分で取り出せるようになっています。

### ■参考著書

『MIMAMORU 見守る保育』(Gakken保育Books)

著者：藤森平司

出版社：学研プラス (2010/10/13)

発売日：2010/10/13

内容：

実践から提案する保育カリキュラム。こどもの自己成長能力を信じ、こども同士の関わりと、こども自らの選択による活動を保障する、「見守る保育」の環境づくりが丁寧に解説されている。保育・幼児教育の課題発見、「保育の質」の向上へのヒントとなる一冊。